

「脊髄小脳変性症患者における構音障害についての研究」 についてのお知らせ

国立病院機構東埼玉病院では、標記の調査研究を行なっております。

1 実施目的について

脊髄小脳変性症、多系統萎縮症の患者さんにおいて構音障害(しゃべりづらくなる症状)があると、他者とのコミュニケーションをとるために適切なリハビリテーション治療や環境調整を行う必要があります。

本研究は脊髄小脳変性症、多系統萎縮症の患者さんの構音障害について詳細を明らかにすることで、今後のリハビリテーション治療に役立てることを目的としています。

2 実施内容について

脊髄小脳変性症と多系統萎縮症患者さんのうち、2018年4月1日から2024年3月31日までの期間内に当院での入院歴を有し、入院中にリハビリテーション科を受診された患者さんを対象とします。診療録より構音障害(しゃべりづらくなる症状)の状況を調査し、年齢、性別、病型、罹病期間、身体機能、日常生活動作(生活での不自由さ)などの診療情報も併せて収集させていただきます。

3 研究責任者

川畑 有紗 (臨床研究部・機能回復・成育医療研究室・客員研究員)

4 研究期間

この研究の実施が許可された日から2025年3月31日を研究期間とします。

5 個人情報およびプライバシーの保護について

この研究の成果は学術的な場でのみ公表します。公表の際には特定の個人を識別できる情報は含まれませんので、個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。この研究のために作成したデータファイルが入力されたコンピュータはインターネットには接続せず、厳重なパスワード管理により情報の漏洩を防止します。年齢、性別や病歴など基本情報を含むデータは割り付けられた本研究独自の番号によって識別され、保管されます。データの利用は研究責任者および研究分担者のみが行います。

この研究の対象とされないことを希望される方は上記研究責任者へのお申し出いただくことにより研究の対象から除外されます。この研究の対象とされないことを希望される方、この研究にご質問がある方は、上記研究責任者にお問い合わせください。(当院代表電話番号：048-768-1161)